

銅・アルミ

市況見通し

6月

銅

4月の伸銅品生産は、前年同月比で7・9%減の5万9611トとなり17カ月連続で減少した。品種別では銅条が2万1395ト

で同0・3%増、銅管732ト。が8186トで同11・7%減、黄銅棒が1万3420トで同12・1%減だった。多くの品種で新型コロナウイルス感染症拡大によるマイナス影響が生じた。

銅スクラップ 景況予想

流通在庫は生産の大

幅減に伴う発生減により少ない。電気銅建値は今年2月の64万円水準まで戻している。需要面は世界的なコロナショックによる世界経済の先行きの不透明さがよつやくピークを過ぎた。ただ、生産増とまでにはいかず需要は悪化するだろう。

LME銅為替予想

アルミ

4月のアルミ延品生産量(板類・押出類合計)は同8・2%減の15万3055トとな

アルミスクラップ 景況予想

流通在庫はLME価

4月の銅電線出荷量は同13%減の5万1700トで、うち国内が同マイナス12・7%減、輸出が同23・1%減。銅電線出荷量は2桁減となり、さらに悪化した。

銅輸出は、電気銅が同29%増の4万3148ト、銅スクラップが同52・7%減の1万8

6月銅市況予想レンジ

LME銅セツルメント	5400～5600ドル	横ばい
電気銅建値	62～66万円	横ばい
為替(1ドル)	107～109円 (1カ月間T T M)	強い(円高)

6月アルミ市況予想レンジ

LMEアルミ 現物後場買い	1500～1600ドル	強い
スクラップ	マイナス5円～0円 (前月最終価格より)	弱い
為替(1ドル)	107～109円 (1カ月間T T M)	強い(円高)



橋本アルミ取締役 橋本 健一郎氏レポート

米中間題は習近平指導部が犠牲者の追悼や抗議活動を抑え込み、事件の再評価を拒否した。対立は深まる気配だがトランプ米大統領

アフターコロナでは各国で外出禁止や自粛の解除、景気対策などが打ち出されており、一旦、コロナの危機感の後退するとみている。

需要面では足元の生産状況が悪化しているが、中国の自動車販売が回復してきたため輸入価格が上昇している。このことにより多少、国内モノにも引き合いがあるのではと予想している。